

「はまかぜ」(金沢版)

平成 29 年 7 月 14 日号

連載 第91回

横浜市議員 おばた正雄氏 横浜を語る



感謝の心で金沢づくり
横浜から日本を創る!
市会議員
おばた正雄

〈プロフィール〉

昭和54年より横浜市議員。10期。

〈ご相談・ご連絡先〉

事務所:金沢区谷津町332

TEL: 045-783-7869

FAX: 045-786-5315

obatamasao17@gmail.com

横浜市長選 投票率の向上を 7月16日告示・7月30日投開票 候補者の政策に注目し投票を!

横浜市長の任期満了に伴う市長選挙が7月30日に行われます。4年前の市長選挙の投票率は29・05%と低調で100人のうち70人が投票していません。投票率の向上を目指しましょう。

横浜市長の任期満了に伴う市長選挙が7月30日に行われます。4年前の市長選挙の投票率は29・05%と低調で100人のうち70人が投票していません。投票率の向上を目指しましょう。

選挙は、当時の飛鳥田市長が社会党の委員長に就任するという理由で任期を1年残して辞任しました。それまでは市長選挙と市会・県会議員の選挙との同時選挙で、投票率の低下は無かったのです。このように、横浜市長選挙の投票率が低調というのは大問題です。これに対し、選挙法を改正し、地方自治体の首長と各級議員の任期を含めた選挙期日を統一することで投票率の向上と選挙費用を削減すべきであるとの意見もあります。私も同意見です。

今回の市長選挙は大変低調のようですが、その理由は、現職の市長と対抗馬の立候補者の態度表明が大変遅れたこと。対抗馬とされる方々は、カジノ誘致反対を声高に訴えています。カジノ反対の政策が中心だけでは市民の共感を呼ばないでしょう。

その理由は、人口、373万人を擁する日本で東京に次ぐ最大の都市である横浜市は日本が抱える様々な問題を他都市に先

駆けて解決する使命があると考えます。その政策は、人口減少社会を防ぐ少子化対策、教育政策、総合的な都市政策及び行財政改革など、その財源を含めた政策提案が必要とす。

選挙権は18歳以上

今年の7月31日までに生まれた方は選挙権があります。昨年の参議院選挙から18歳以上満20歳未満の青年が選挙に参加することができるようになりました。社会人と高校生を含む18歳以上の青年男女に投票を呼びかけましょう!